

CHUOH TRY+ANGLE

知っ得通信

2021年5月20日発行 編集・発行：中央教育研究所(株) 〒730-0013 広島市中区八丁堀15-6 <http://www.chuoh-kyouiku.co.jp>



中土井鉄信の「地域一番の繁盛塾になるための最強法則」 vol.111

< 観点別学習状況評価が変わった意味 >

この原稿を書いている5月13日時点で、東京・大阪・京都・兵庫の緊急事態宣言が5月末まで延長になり、愛知県と福岡県も追加され、そして、今日のコロナ感染状況を見ると北海道も追加される勢いですが、読者の皆様の地域は、どういう状況でしょうか。

感染対策をしっかりやって、子どもたちの学習権だけは守りましょう。

それでは、今回は、新しい学習指導要領について、大きく変わった点を評価の観点から考えたいと思います。

学校の成績は、何を基につけられるかご存知だと思いますが、ちょっと復習をしておきたいと思います。観点別学習状況評価の変遷を少し見ておきましょう。

古い話からスタートします。観点別学習状況評価に「関心・態度」が登場したのは、実は、1980年の学習指導要領からです。「関心・態度」が、「知識・理解」、「技能・表現」、「思考・判断」の後に初めて導入されたのです。当時は、「関心・態度」の重要度が非常に低いものでした。そして、この主観的な観点をめぐっては議論が巻き起こりました。主観的なものを評価に入れるべきではないと。既に40年前から、今でいう「関心・意欲・態度」が入って、その当時の受験競争の緩和の手段として登場しているのです。

そして、1989年の「新学力観」の登場で、観点別学習状況評価も大きく変わることになります。それまでの観点別学習状況評価の優先順位は、1.「知識・理解」2.「技能・表現」3.「思考・判断」4.「関心・態度」でしたが、それが、大逆転をします。1.「関心・意欲・態度」2.「思考・判断」3.「技能・表現」4.「知識・理解」になって、今まで一番重要度が低かったはずの、「関心・意欲・態度」が一番重要だとなるのです。なんと「意欲」まで入ってきて、完全に主観的な基準が上位に来ることになります。明らかに恣意的な転換

です。学力重視から、自主的な服従主義に転換したと言っても良いと思います。さらに言えば、児童生徒の学校や教師に対する忠誠競争を仕掛ける転換とみても良いかもしれません。高校入試は内申点に縛られているのですから。この転換から、日本では完全に、受験競争が子どもたちを押しつぶすというような現象は消えていくのです。

また、2010年には、技能と表現を分け、表現を思考・判断の結果として、若干くくりを変えました。1.「関心・意欲・態度」2.「思考・判断・表現」3.「技能」4.「知識・理解」となりました。これをもって、観点別状況評価のソフト的なものは、完成をします。

そして、10年後の今回の大改訂では、今までのソフト路線からハード路線へと大きく方向転換します。この観点別状況評価が4項目から3項目に変わりました。40年ぶりの大変更と言っても良いほどです。このことの意味は、実は非常に大きなものです。今回の改定で、4つの観点を3つにし、大きく学力重視を打ち出したのです。

従来の1.「関心・意欲・態度」2.「思考・判断・表現」3.「技能」4.「知識・理解」の4観点が、3観点になり、順位を変えたのです。1.「知識・技能」2.「思考・判断・表現」3.「主体的に学習に取り組む態度」の3観点になり、「ゆとり教育」の象徴のような「関心・意欲・態度」という観点が大幅に後退し、学力に関わる観点が、一番重要だということになったのです。その結果、学校の成績は、上位2項目で決定されます。つまり、学校の定期テストの得点で、1.「知識・技能」を評価します。また、2.「思考・判断・表現」も同じように、得点で評価します。3.「主体的に学習に取り組む態度」は、得点の反映だと考えて、これをもって、得点が悪くても救済するようなものにはならないのです。今までの学校の成績の付け方とは、全く違うものになりま

中土井鉄信の「地域一番の繁盛塾になるための最強法則」

vol.111

した。

ついに、1980年の観点別学習状況評価の「知識・技能」が最重要項目に復活したのです。このことの意味は大きいと思います。今までは、主観的な評価と客観的な評価（知識・技能・表現力）などの総合的な評価だったものが、明らかに、その比重を変え、客観的な評価を中心にしたものになったのです。簡単に言えば、学校の定期テストの点数が、ノート提出よりも何よりも重要になったということです。通信簿を見るとそう見えませんが、そういうことのメッセージがこの観点別学習状況評価の意味なのです。

つまり、この新しい学習指導要領の大改訂の意味は、学力偏重になり、良い学校成績（内申点）を取るためには、今まで以上に学校の定期テスト対策をしっかり行い、高得点を取ることだということです。

また、今回の学習指導要領は、学力格差が生まれやすいものだということです。学ぶツールがデジタル化し、学ぶためにツールに慣れることが求められ、訓練が求められ、それから学ぶことになるので反復する時間がなくなり、基礎基本が疎かになっていくからです。そういう意味でも、民間教育である学習塾は、しっかり基礎基本を反復させることです。子どもたちを学力分断させないことです。ここに、塾としての使命があると私は思います。ぜひ、皆さん、今年は、今まで以上に学校で何をやっているか、深く知るようにしてください。学校のノートを5教科持ってきてもらって、学校対策を確実に行ってください。ここが、これからのポイントになるはずですよ。コロナに負けない塾経営をしていきましょう。

【観点別学習状況評価の変遷】

年代	観点別学習状況評価			
	1	2	3	4
1980年	「知識・理解」	「技能・表現」	「思考・判断」	「関心・態度」
	「関心・態度」が登場。			
1989年	「関心・意欲・態度」	「思考・判断」	「技能・表現」	「知識・理解」
	評価の優先順位の変更。「関心・態度」に「意欲」が加わる。			
2010年	「関心・意欲・態度」	「思考・判断・表現」	「技能」	「知識・理解」
	「技能・表現」を分け、くくりを変更。			
2020年	「知識・技能」	「思考・判断・表現」	「主体的に学習に取り組む態度」	
	4項目から3項目に変更。評価の優先順位の変更。			

【編集後記】

中土井による塾経営相談コーナーもあります！
5/23(日)東京 6/6(日)大阪「JEC 学習塾経営セミナー」
 学習塾専門コンサルタント陣が夏の集客戦術をお伝えします。

セミナーテーマ：「夏期講習での生徒増・売上増を達成する
 マル秘オペレーション、教えます」

5/23(日)東京 6/6(日)大阪 お申し込み受付中です！

【参加費】一般参加…6,000円(税込)

↓詳しいご案内はこちらから↓

<https://management-brain.net/mbaseminar02>

数字でみる学習塾経営・業界のトレンド vol.75-1

ずいぶん昔の話になりますが学生のころ、最も興味を引かれたのが「歴史」でした。

といっても、個々の出来事の顛末や偉人の生涯が好きだったというわけではありません。面白いなあと思ったのは文明や時代の「転換」という現象でした。

歴史にはときに、昨日まで価値あったものがある日突然、全くの無価値、どこか有害と指弾されるところまで落ちてしまうことがあります。

好例が明治維新です。幕府の天下がほんの数年で朝廷の天下に変わってしまった。それも鎖国を旗印に決起したはずの朝廷派が、いつの間にか開国の主導勢力に変わるというオマケまでつけて…。

なぜか？ また、どうしてこんな変動がかくも短期間のうちに…。歴史のロマンといえはいえるのかも知れませんが、それよりはむしろ人間社会の持つ「はかなさ」や「虚しさ」「冷酷さ」を感じたものでした。

現在、われわれもまた明らかにそんな転換の瞬間に遭遇しています。

地殻変動の震源が「ICT」であることは分かっています。このままで行けば近々10年ないし30年のうちに、ICTとそれに伴う人間の意識・思想の変化の波が、世界の経済を変え、政治を変え、環境を変え、さらにはわれわれの生活そのものを一変させてしまうことでしょう。

ところで、では、そうした転換の時代に生まれ育ってオトナになっていく子どもたちはいま、自分の将来にどんな夢を描いているのでしょうか。

いろいろな機関が「オトナになったらなりたいもの」についての調査を行っていますが、ここでは第一生命保険株式会社が昨年12月に行った「第一生命『大人になったらなりたいもの』アンケート」の結果を紹介します。

◆小学生3年生～6年生

	男子(N=581)		女子(N=553)	
1位	会社員	8.8%	パティシエ	14.1%
2位	YouTuber / 動画投稿者	8.4%	教師/教員	7.1%
3位	サッカー選手	7.6%	幼稚園の先生 / 保育士	6.0%
4位	ゲーム制作	7.2%	会社員	5.8%
5位	野球選手	6.4%	漫画家	4.5%
6位	鉄道の運転士	4.6%	料理人/シェフ	4.3%
	—	—	看護師	4.3%
7位	警察官	4.5%	—	—
8位	公務員	4.1%	芸能人/アイドル	3.8%
9位	料理人/シェフ	3.4%	公務員	3.4%
10位	ITエンジニア / プログラマー	2.9%	医師	3.4%
	教師/教員	2.9%	—	—

◆中学生

	男子(N=471)		女子(N=449)	
1位	会社員	18.3%	会社員	13.6%
2位	ITエンジニア / プログラマー	6.8%	公務員	7.8%
3位	公務員	5.7%	看護師	6.9%
	YouTuber / 動画投稿者	5.7%	—	—
4位	—	—	パティシエ	5.6%
5位	ゲーム制作	4.9%	教師/教員	5.1%
6位	鉄道の運転士	4.5%	幼稚園の先生 / 保育士	3.8%
7位	サッカー選手	4.2%	料理人/シェフ	3.3%
	医師	4.2%	医師	3.3%
	—	—	アナウンサー	3.3%
8位	—	—	—	—
9位	教師/教員	3.6%	—	—
10位	野球選手	2.3%	ヘア・メイクアップアーティスト	2.9%
	警察官	2.3%	—	—
	料理人/シェフ	2.3%	—	—
	eスポーツ選手	2.3%	—	—

数字でみる学習塾経営・業界のトレンド vol.75-2

◆高校生

	男子(N=487)		女子(N=459)	
1位	会社員	22.2%	会社員	20.0%
2位	ITエンジニア/ プログラマー	11.5%	公務員	9.4%
3位	公務員	10.5%	看護師	7.4%
4位	ゲーム制作	5.7%	教師/教員	5.2%
5位	教師/教員	4.3%	幼稚園の先生/ 保育士	4.6%
6位	サッカー選手	3.7%	パティシエ	4.4%
7位	YouTuber / 動 画投稿者	2.9%	薬剤師	2.6%
8位	鉄道の運転士	2.3%	医師	2.4%
	野球選手	2.3%	ヘア・メイクアッ プアーティスト	2.4%
9位	—	—	—	—
10位	医師	2.1%	トリマー/バツ トショップ店員	2.0%

同社では1989年（平成元年）から毎年、全国の幼児と児童（保育園・幼稚園生および小学校1～6年生）を対象に「大人になったらなりたいもの」調査を行ってきたそうです。

ちなみに、いまの子どもたちの両親世代が子どもだった89年の第1回調査のトップ10を見ると…。

◆同アンケートの1989年調査結果

	男子	女子
1位	野球選手	保育園・幼稚園の先生
2位	警察官・刑事	お菓子屋さん
3位	おもちゃ屋さん	学校の先生
4位	サッカー選手	看護師さん
5位	パイロット	お花屋さん
6位	学者・博士	ピアニスト・ピアノの先生
	先生	—
7位	—	歌手・タレント
8位	医師	美容師さん
9位	サラリーマン	マンガ家
	電車の運転士	—
10位	—	客室乗務員

89年のトップ10と20年のそれとを比べると、男の子はおもちゃ屋さん、パイロット、学者・博士、医師が抜けて、YouTuber・動画投稿者、ゲーム制作、公務員、料理人・シェフ、ITエンジニア・プログラマーが入っています。

女の子はお花屋さん、ピアニスト・ピアノの先生、美容師さん、客室乗務員が抜けて、会社員、料理人・シェフ、公務員、医師が入っています。

男の子のトップ10にYouTuber・動画投稿者、ゲーム制作、ITエンジニア・プログラマーが入ってきたことや、女の子のそれに会社員、公務員が入ってきたことに、時代の変化を感じますね。

工業社会から情報社会への変化の時代だったこれまでの30年間と、情報社会からsociety5.0へと向かうこれからの30年間とは、変化のスピードが全く違うと言われています。

30年後の子どもたちが「大人になったらなりたいもの」を尋ねられた時、なんと答えることになるのでしょうか。

PS・コンサルティング・システム

小林 弘典